

リュウ・ナンジャン 研究員 (中国)



私は中国から来たリュウ・ナンジャンと申します。中国では中国民政部の国家減災センター（NDRCC）で働いています。NDRCCは2002年に設立され、技術提供や情報サービス、研究、訓練を実施する他に、防災や救助活動に関する意思決定を行う省庁への支援を行っています。

中国は世界的に見ても自然災害が多発する国の一つです。理由としては、広大な国土、それに伴う複雑な気候分布や地形起伏に関する要因、自然災害に対して脆弱な環境が多い点などがあげられます。中国の都市の約70%、そして人口の約50%は、気象災害や地震、海上災害などの影響を受けやすい状況におかれています。特に、2000年以降は自然災害による年間経済損失は、GDPの5%から7%を占めており、死者数は数千人規模となっています。このように、中国では自然災害の発生が持続的な社会および経済発展の大きな障害となっています。

このような自然災害による被害を軽減させるため、中国は国家防災委員会（NCDR）を設立しました。NCDRは、自然災害のための政策、規制、ガイドラインや実施計画などの策定を行っています。また、主要な自然災害に対する防災活動、地域活動などについても実践しています。

近年、中国政府は防災システムの構築を進めています。まず、防災を国の開発計画に組み込みました。ここでは、中国政府が災害リスクの軽減を、中国における国および地域の社会経済開発計画の最重要項目として位置づけました。さらに、緊急対応システムの構築および改良も合わせて進められ、国の「第12次防災5カ年計画」も策定されました。

第二に防災への取り組みの推進とともに、中国政府は災害の情報管理についても整備を進め、中国政府は2008年に自然災害情報管理システムを構築しました。

最後は災害対応管理の強化です。中国の国務院は「国レベルの緊急時対応計画」の策定を行いました。また、中国民生部は「災害救援のための緊急時対応計画」と「突発的自然災害のための業務手順書」、そして「緊急災害救援のための業務手順書」を作成しました。合わせて、省、市、県レベル及び鎮（町）、工場、学校における緊急対応計画についても作成しました。

私は今回の研修を通じて、日本における地震や台風に関連する災害リスク評価などについて学びたいと思っています。また、災害リスク指数システムや、リスク評価モデルなどについても関心があります。合わせて、法律や制度を通じたコミュニティレベルにおける減災および防災活動についても調査をしたいと考えています。